

えがお通信



2023年1月号
社会福祉法人 尚徳福祉会
おぐら保育園 園長 酒井和子

新年あけましておめでとうございます。

年末年始は、お子様とどのように過ごされたのでしょうか。子どもたちからお話を聞くのが楽しみです。

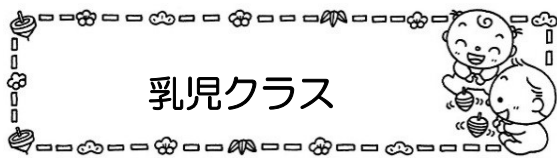
本年度も残すところあと3か月となりました。保護者の皆様のお力添えのおかげで、無事新年を迎えること、心より感謝いたします。少しずつ大きくなっていく子どもたちの姿を一日一日大切に見守っていきたいと思います。



1月の行事

7日（土）たんぽぽ組個人面談
12日（木）避難訓練（不審者）
14日（土）ちゅうりっぷ・たんぽぽ・ゆり組個人面談
17日（火）えいごで遊ぼう
21日（土）ゆり組個人面談
26日（木）避難訓練
28日（土）ゆり組クラス懇談会
30日（月）乳児誕生日会
31日（火）幼児誕生日会
31日（火）えいごで遊ぼう





乳児クラス

いちご組では、周りからの声かけに「アー」「ウー」など、喃語でお返事が出来るようになりました。ごきげんなときの表情豊かな笑顔はみんなをハッピーにしてくれます。

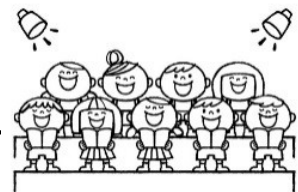
みかん組・もも組では「あっちいきたい」「これがほしい」など、自分の意思を体や言葉を使って自己主張するようになってきました。子どもたちの思いをしっかりと受け止めたいと思います。



幼児クラス

園庭のログハウスの中でおままごとや、登り棒に挑戦する姿が多く見られます。また、寒い中、元気よく走り回っています。

時には、乳児クラスの子と遊んであげている姿や優しく面倒を見てあげている姿も見られます。みんな、お兄さん、お姉さんになりましたね。

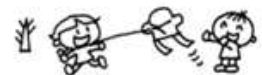


せいちょうはっぴょう会

たくさんのご参加ありがとうございました。子どもたちが「たのしかったね」「たくさんほめてもらったよ」とうれしそうに話してくれました。子どもたちにとって、大きな達成感を味わえたのではないかと思います。

アンケートの結果、「良い思い出となりました」「成長を感じられました」というご意見や職員への温かなお言葉をいただきました。ありがとうございました。

お正月遊び



昔から親しまれているお正月遊び。お正月遊びにもいろんな由来があります。例えば「凧あげ」の由来は、江戸時代には、「立春の季に空に向くのは養生の一つ」と言われており、凧を上げることで空を見上げることが【健康祈願】につながるということです。他にも【子どもの成長を祈る】などの意味もあるようです。

伝統を大切に、昔ながらの遊びを子どもたちと一緒に楽しみたいですね。

・・注意！！ 子どもの鼻水・・

子どもたちが鼻水をたらしていても「熱はないし、鼻水くらい・・・」と思っていませんか。鼻水は咳や熱と違って後回しにされがちです。子どもは耳と鼻をつなぐ耳管が太く短いため、鼻の菌が耳に入りやすい構造をしています。そのため中耳炎になりやすいです。

鼻が出たら、早めの受診と上手に鼻をかむことが大切です。

冬のスキンケア



寒い季節は、空気が乾燥して肌も乾燥してしまいます。汗の量が減り空気が乾燥することで、肌の保湿力も一気に低下するためです。肌が乾燥しかゆみが出てくると、小さな子どもにとってはとても辛いですね。肌に優しく刺激のない素材の服を着るようにし、保湿クリームなどを塗るなど、ご家庭でのスキンケアを心がけましょう。